

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	未破裂脳動脈瘤の自然歴および治療の妥当性の評価	
1. 研究の目的と方法	当院を受診され経過観察や治療を行っている脳動脈瘤患者さんの情報を収集して解析することにより、経過観察中の脳動脈瘤の破裂リスクと治療の妥当性を検討することを目的としています。 過去登録期間に蓄積された患者データベースを用いて調査します。2003年1月より2028年5月31日までに当院を受診した脳動脈瘤患者をデータベースに登録します。経過観察している間の脳動脈瘤破裂イベント、動脈瘤の増大の有無を記録します。登録後最低1年間の経過観察期間を設けて解析を行います。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年5月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	研究機関：東京慈恵会医科大学附属病院 対象となる方：当院附属病院において、2003年1月1日から2028年5月31日までに脳動脈瘤の診断を受けた方。対象年齢18歳以上	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	患者基本情報：年齢、性別、既往歴（糖尿病、高血圧、高脂血症など）、家族歴（本人の親、兄弟、子供に関するくも膜下出血、脳出血、脳梗塞、脳卒中、大動脈瘤、川崎病、狭心症、気胸、弁膜症、その他の疾患）、アレルギー歴、喫煙歴、飲酒歴、身体計測、血圧測定値など ・疾患情報：動脈瘤に関する情報（場所、数、大きさ（長径、短径）、壁の厚さ、形状、2回以上測定した場合の大きさの変化）、治療方法、治療内容、偶発症や合併症の有無など ・血液検査結果：肝機能、腎機能、電解質、血算、凝固能、血小板凝集能、内分泌関連値など ・画像所見結果：CT、MRI、脳血管撮影画像、単純レントゲン画像など
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	【例】東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座
	氏名	村山雄一

	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 石橋敏寛
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年5月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 研究責任者：教授 村山 雄一（むらやま ゆういち） 窓口担当者：教授 石橋 敏寛（いしばし としひろ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3461） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。